



## 3月の青空の下、庭には

### スイセンが咲いています



## 四国にてパート2

高松駅についたのは、4月のある木曜日の午後4時、高松所長とニコニコして隣に立っている娘が迎えに来ていました。「お疲れ様でした」と所長、高松の所長とはいっても大阪支店で会議の時会っていますので顔なじみです。私より2歳年下の26歳の所長です。「大堂です、よろしくお願いします」「おお君が大堂君か、いつも電話で失礼していて申し訳ない」

「いえ、こちらこそありがとうございます」と相変わらず元気いっぱい娘です。会うのは始めてです。電話でいつも話しているの、始めて会ったような気がしませんでした。「お荷物をおもちします」「いや重いので」「大丈夫

です私力だけではありませんから」と私の荷物を強引にもってくれました。所長はニコニコしながらそのやり取りを見ていました。「課長これからホテルにはいりますか？」「いや、営業所に行こう」3人は高松営業所に向かいました。

高松営業所は駅から少し離れた栗林公園の近くの閑静な環境の場所にあります。所長から現状報告を聞いているとやはり1、2軒は問題のある代理店さんがあるようで、明日詳しく検討することになりました。6時過ぎに営業所を出て3人で食事をすることにしました。私が奢ることにして、高松に来たからには美味しいうどんを所望して所長の粗すめのうどん屋に入りました。やはり讃岐うどんは最高で

した。その後所長に行きつけのバーで3人で飲み2時間ぐら以後に帰る時大堂くんがお酒は弱いと聞いていたのですが、少し飲んだだけであしがふらふらになってこれは家まで送らないといけないなあと所長と話してタクシーで送ることにしました。

「大丈夫です、私はしっかりしています」とか言っていました。舌がもつれて「課長さんは彼女はいるのですか？」「結婚はしないのですか？」と際どい質問をしてくるのを見ると結構酔っているなと所長と二人で笑っていてタクシーに乗せ先に帰らせて私と所長は又飲み直すことにしました。所長は二人のお子さんのある既婚者ですが、お酒は強くて、どうしてリコー教育機器の人間は皆酒が強いのかわかりませんが支店長以下皆強いようです。

翌朝営業所に出向き営業マン5名全員揃ってましたので、私が皆に会社の方針を話し、皆んなから今出向している代理店の現状報告があり問題のあるところを高知の代理店方式を取り入れることにし、午後3時には解散しました。

大堂くんは今日も元気ではきはきと大きな声で電話でも話をしていました。私はちよっぴり可愛い娘だなあと思いましたが、大阪の順子さんのことが気になっていましたので、大堂くんにはそれ以上の気持ちを持つことはなく、仕事に向かっていきました。今日は金曜日、明日は休みの日です。しかし私と所長や、出向社員は代理店の勤務状態に合わせていますので、ほとんど出勤です、下手したら日曜日もノルマが足りなければ出勤しています。二人は朝から各代理店の情報分析や、今後の施策などを午前中か

けて話をしていると、「おはようございます！」「おはよう大堂くん今日はやすみだよ」と所長、「はい、でも皆さん仕事されているので私も何かお役に立てばと出てきました」「ゆっくり休んでいればいいのに」「私はおかしくなり笑っている」と課長おかしいですか？」「いや、そうではなく元気ですね」と誤魔化していました。所長はその後用事があると出掛けましたので、私も一旦ホテルに戻ってシャワーでも浴びるか「大堂くん、私はホテルに戻るよ、君は1人でここに居るか？」「いえ、お供します」

ええ同行してくれなくてもいいのにと思いましたが、行為を傷つけたらいけないように思い「そうか、ではこの荷物を持ってきてくれるか」「はい、ありがとうございます」なにかありがたいのやら。

ホテルに戻ってまさか部屋に入れるわけにもいかない。「君はこのラウンジで待っていて下さい」「はい、課長さんは今から」「うん、私は今からシャワーをあびてくるからよろしく」と自分の部屋に行きシャワーを浴びて下に降りてくると、大堂くんはラウンジでちよこんと座って待っていました。「いや、おまたせお茶でも飲もうか?」「はい、元氣よくこたえるのに笑えてきました、二人で午後のお茶を、私は珈琲、大堂くんは紅茶を頼み二人でなんとなく、話すこともなく、午後3時の時間を過ごしていましたが、いきなり大堂くんが「課長さんは彼女いるのですか」とまた聞いてきました。「どうして君はそんなことがきになるの?」と問いかけました。「実は私前から電話だけでしたが、課長さんのことが気になって仕方なかったのです。今回お会いできてはつきり自分の気持ちを伝えようと覚悟を決めて今日来ました」「課長さん、決まった人がいないなら私と付き合っていただけませんか?」「私

課長さんのことが好きなんです、母にも言っておりません」あまりにもグイグイ来るので私はあつげにとられていて、大堂君のことを大人の女性として見たことがないので「ちよっと待って、君のことを好きとか嫌いとか考えたことがないので、この話は時間をかけて考えてみようよ」「いえ、課長さんは大阪で綺麗な人に囲まれて仕事をしておられます。私心配です。高松の田舎娘など大阪に帰られたら忘れてしまいますよね」「そんなことはないよ」おたおたと私は答えていました。彼女は覚悟を決めた目で「このまま、課長さんと二人でお部屋に行ってもいいのですが」流石に震える声でそう行ってきました。

さて私は窮地に陥りましたがこの先どうすればいいのか、籠谷 弘決断のときですが

こんな生娘になんとなく押しなされつぱなですが、この先どうなるかは次回に……

籠谷 弘

朝日新聞に2月掲載されました。

裸木を5線譜にして雀たちメロディ奏でる春呼ぶ歌の

光木 和子

「評」

寒を避けるふくら雀は枝に止まれば音符のようだ、そこから旋律を読むとは！まさか春の音の到来だ



### 歌声喫茶 3月・4月の予定

「洛西」(第1、3木曜日)

3月 2日、16日

4月 6日、20日

### 楽々亭第30回 3月の予定

3月の楽々亭は休会といたします。

### ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地 4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。